



2021年12月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(1 ページ\)](#)
- [不具合 \(2 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Right Now

- [Right Now WiFi] は、訪問者と見なされない除外されたデバイスの数、またはデータ処理中にフィルタ処理されたデバイスの数を表示できるように機能強化されました。
- 除外されたデバイスの数は、[Right Now Wifi] の [Note] セクションにメッセージとして表示されます。

キャプティブ ポータル ランタイム

- [Access Code Authentication] : アクセスコードレベルで設定された [Session Duration] と [Bandwidth Limit] が、キャプティブポータルによって考慮されるようになりました。認証中に、値はコントローラに渡され、セッションの継続時間と帯域幅についてコントローラで行われたデフォルト設定を上書きします。

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

[Event Notification] : Cisco Spaces パートナーがすでにアクティブ化されているアプリに新しいイベントを追加すると、顧客がアクセス許可を受け入れて新しいイベントにサブスクライブした場合にのみ、Firehose API を介して送信されます。この機能強化の前は、新しいイベントに顧客の許可は必要ありませんでした。

- アプリタイトルに [New Permission Required] 通知メッセージが表示されます。これらの新しいアプリイベントにサブスクライブするには、新しいアプリのアクセス許可をクリックして同意する必要があります。
- 新しいイベントがアプリに追加されたことを示す電子メール通知も顧客に送信されます。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、 x は任意の文字（a～z）、 N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#)（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の不具合

Cisco Spaces のこのリリースでは未解決の不具合はありません。

解決済みの不具合

Cisco Spaces のこのリリースで解決された不具合はありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。